

「アレルギー研修会」および「各ガイドライン」に関するアンケート集計表2008年度

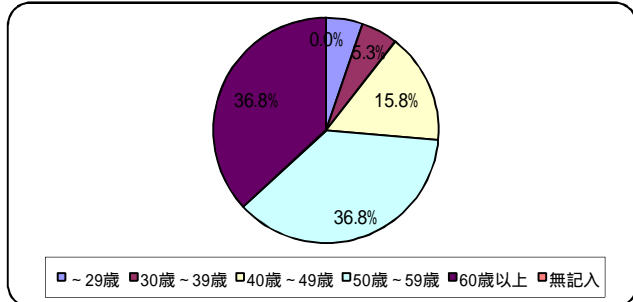
厚生労働科学研究費補助金事業

「ユビキタス・インターネットを活用したアレルギー疾患の自己管理および生活環境改善支援システム、遠隔教育システム、患者登録・長期観察システムに関する研究」

研修会場:大阪

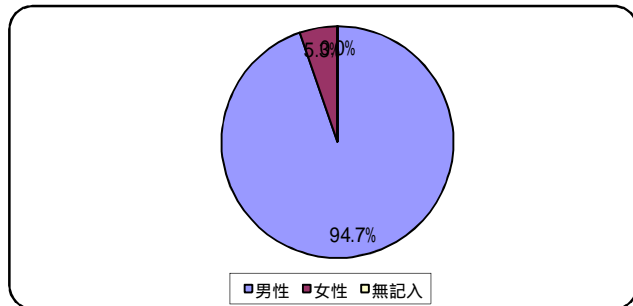
1. 先生のご年齢

～29歳	1
30歳～39歳	1
40歳～49歳	3
50歳～59歳	7
60歳以上	7
無記入	0
合計	19



2. ご性別

男性	18
女性	1
無記入	0
合計	19

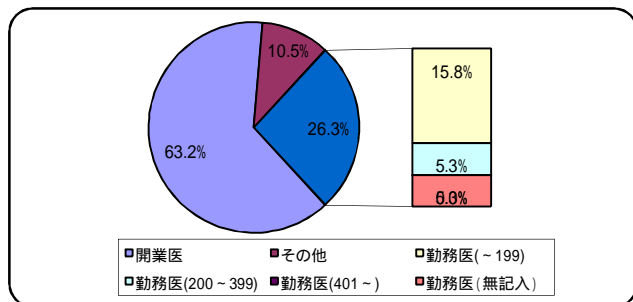


A. 専門性について

1. ご勤務の形態について

開業医	12	
勤務医	200床未満	3
	200～399床	1
	400床以上	0
	無記入	1
その他	2	
合計	19	

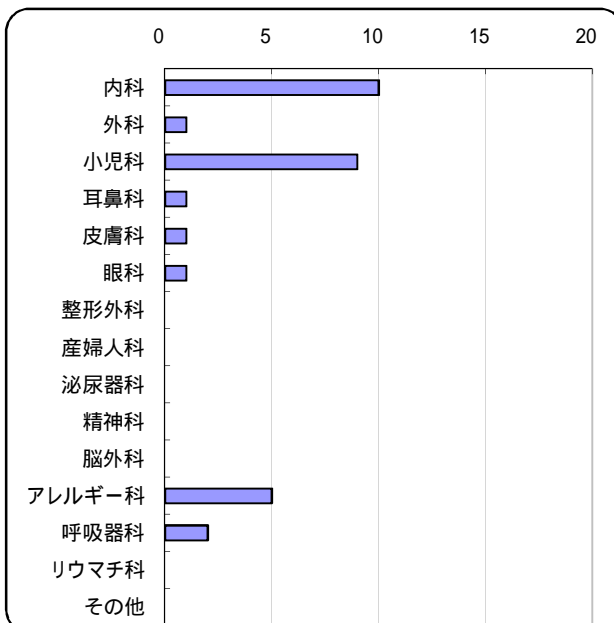
その他:無記入



2. 専門とされる、あるいは標榜されている領域をお選び下さい(複数回答可)

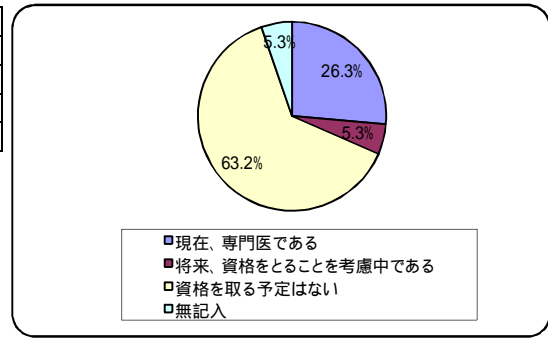
内科	10
外科	1
小児科	9
耳鼻科	1
皮膚科	1
眼科	1
整形外科	0
産婦人科	0
泌尿器科	0
精神科	0
脳外科	0
アレルギー科	5
呼吸器科	2
リウマチ科	0
その他	0

その他:



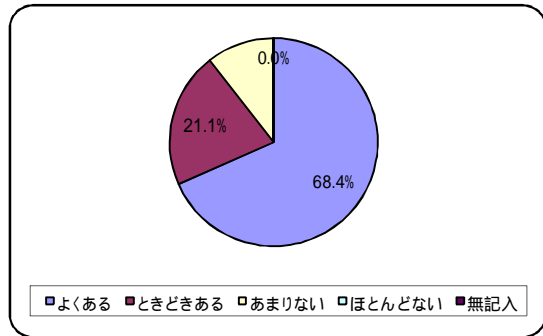
3. 日本アレルギー学会認定のアレルギー専門医について

現在、専門医である	5
将来、資格をとることを考慮中である	1
資格を取る予定はない	12
無記入	1
合計	19



4. 喘息、アレルギー性鼻炎(花粉症を含む)、アトピー性皮膚炎、蕁麻疹などのアレルギーの患者さんを診察されることがありますか

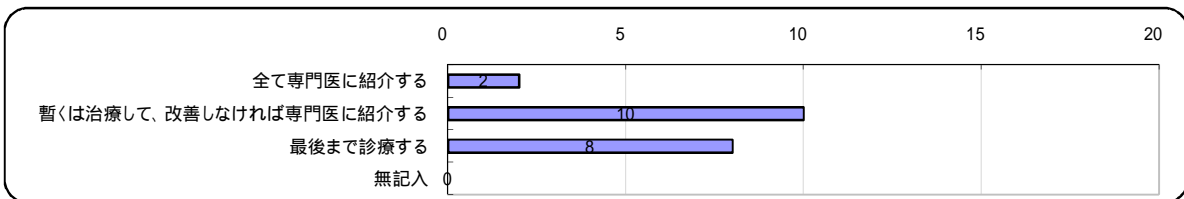
よくある	13
ときどきある	4
あまりない	2
ほとんどない	0
無記入	0
合計	19



5. 初診のアレルギーの患者さんが受診された時、どのようにされますか

全て専門医に紹介する	2
暫くは治療して、改善しなければ専門医に紹介する	10
最後まで診療する	8
無記入	0

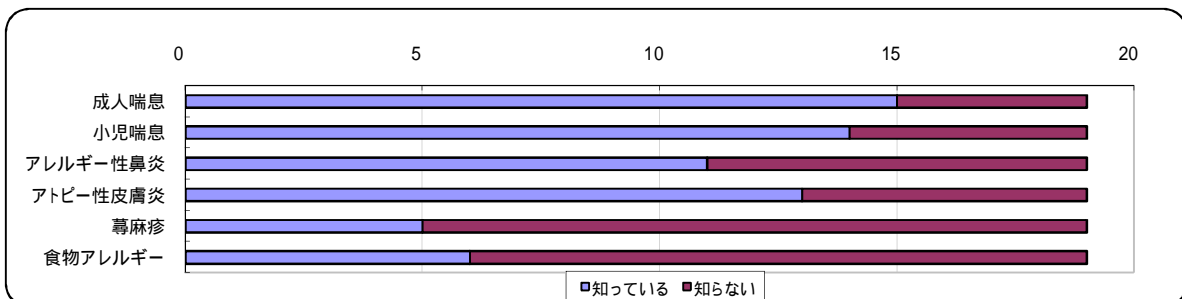
重複あり



B. 「アレルギー疾患の診療ガイドライン」についてうかがいます

1. 学会あるいは厚生労働省の作成したアレルギー疾患の診療ガイドラインがあることをご存じですか(複数回答可)

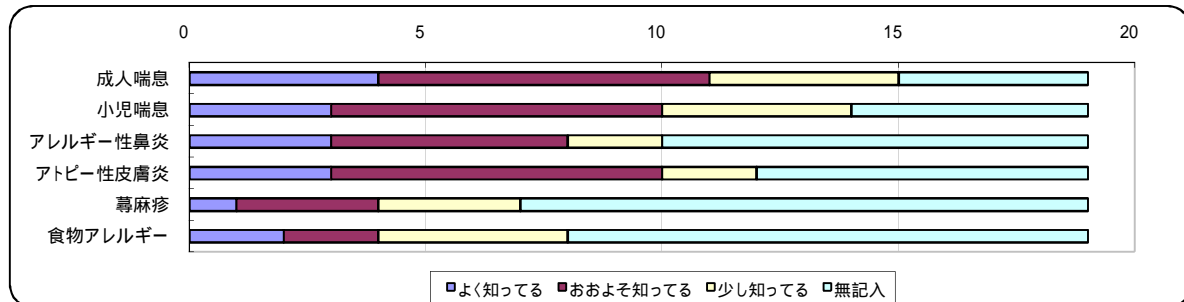
知っている	成人喘息	15	78.9%
	小児喘息	14	73.7%
	アレルギー性鼻炎	11	57.9%
	アトピー性皮膚炎	13	68.4%
	蕁麻疹	5	26.3%
	食物アレルギー	6	31.6%
全て知らない		2	10.5%



知っているとお答えの先生に伺います(質問2～4)

2. 実際に内容はどの程度までご存じでしょうか

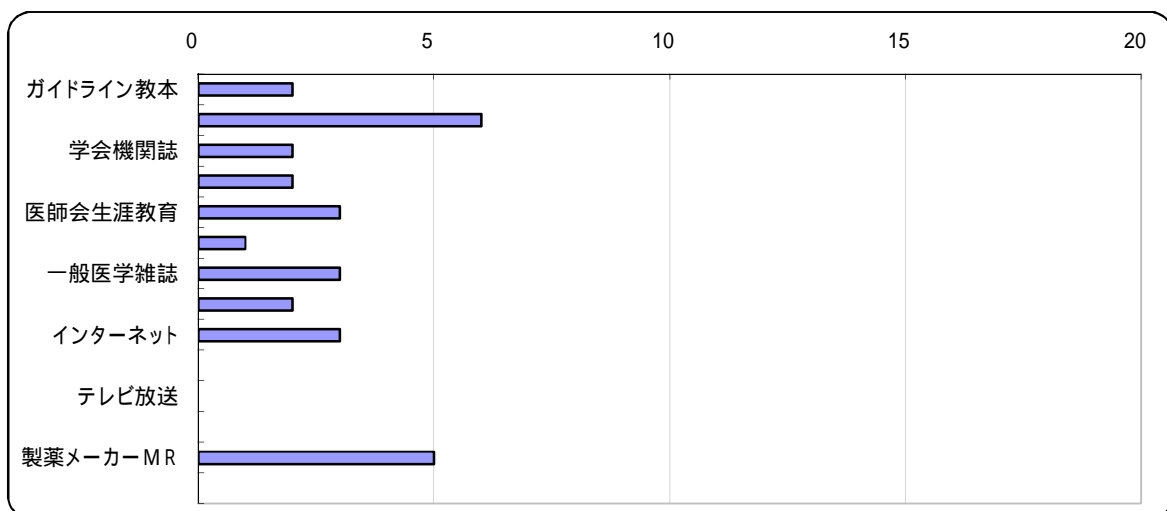
	よく知っている	おおよそ知っている	少し知っている	
成人喘息	4	7	4	無記入21
小児喘息	3	7	4	無記入31
アレルギー性鼻炎	3	5	2	無記入26
アトピー性皮膚炎	3	7	2	無記入35
蕁麻疹	1	3	3	無記入40
食物アレルギー	2	2	4	無記入41



3. どのような機会でご案内になりましたか

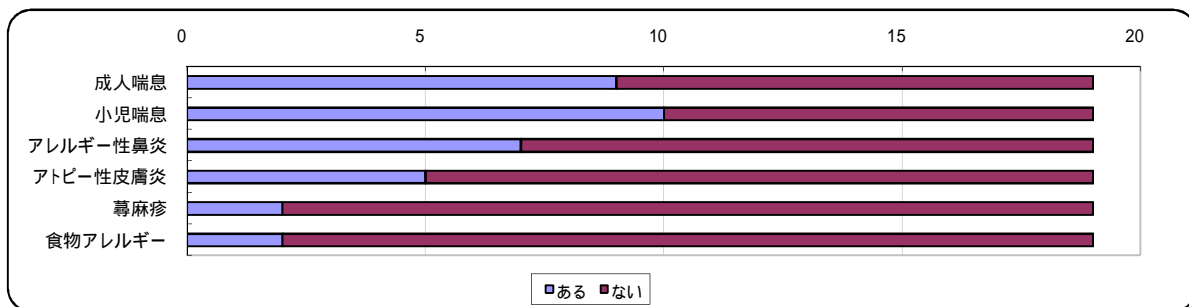
ガイドライン教本	2
各専門学会に出席	6
学会機関誌	2
各学術講演会	2
医師会生涯教育	3
医学専門書	1
一般医学雑誌	3
各種パンフレット	2
インターネット	3
新聞	0
テレビ放送	0
ラジオ放送	0
製薬メーカーMR	5
その他	0

その他:



4. 実際に診療に利用されているガイドラインはございますか

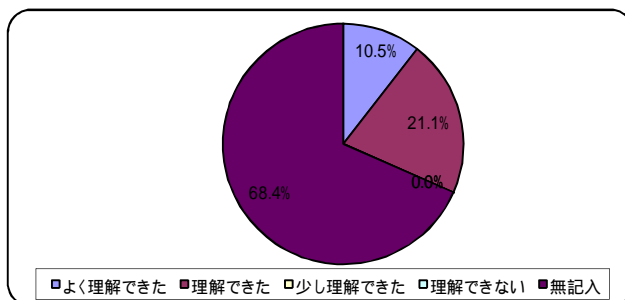
利用している	成人喘息	9
	小児喘息	10
	アレルギー性鼻炎	7
	アトピー性皮膚炎	5
	蕁麻疹	2
	食物アレルギー	2



ガイドラインを知らない、又は利用されていない先生方に伺います (質問5~7)

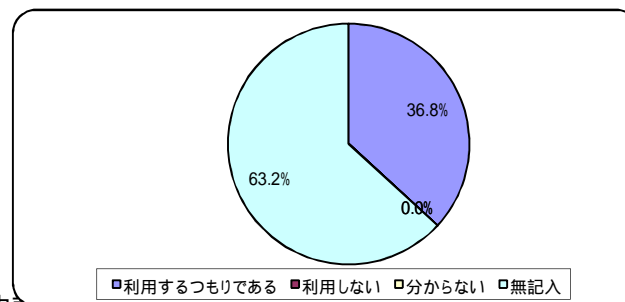
5. この研修会によりアレルギーの診療ガイドラインの理解が進みましたか

よく理解できた	2
理解できた	4
少し理解できた	0
理解できない	0
無記入	13
合計	19



6. 今後、ガイドラインを利用してアレルギー診療を行われますか

利用するつもりである	7
利用しない	0
分からない	0
無記入	12
合計	19



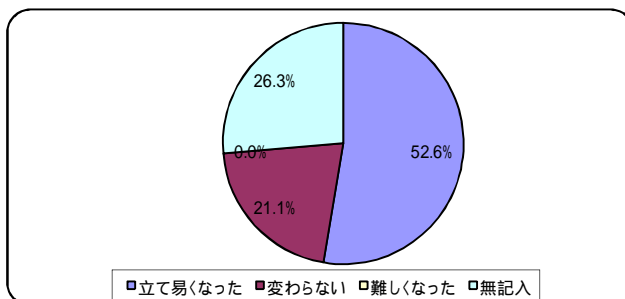
7. 利用しない理由がありましたら教えてください(自由記述)

なし

知っているとお答えの先生に伺います (質問8~13)

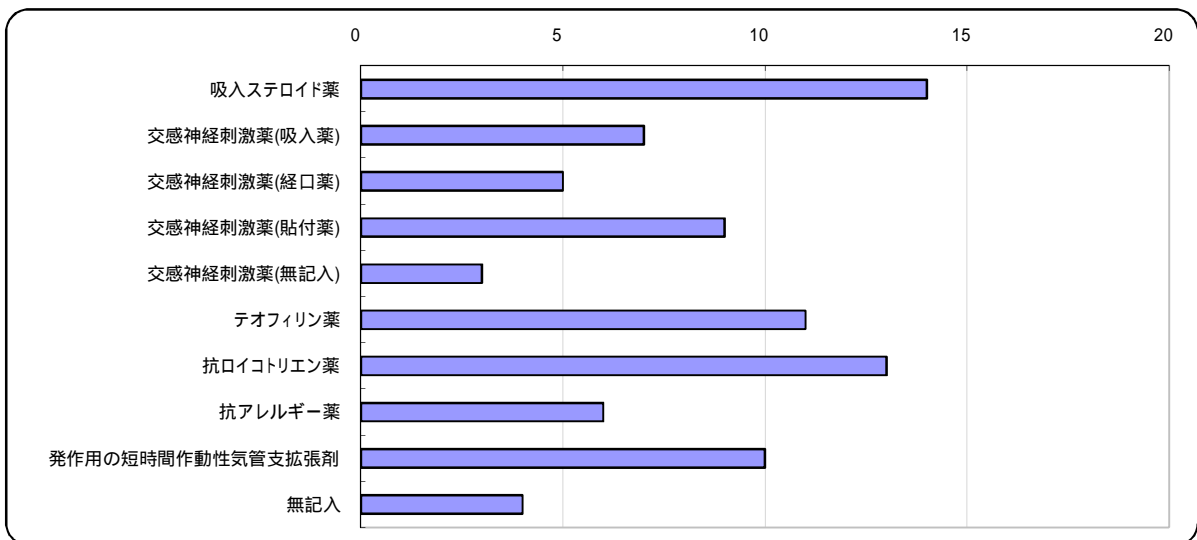
8. ガイドラインの利用により、治療方針が立て易くなりましたか

立て易くなった	10
変わらない	4
難しくなった	0
無記入	5
合計	19



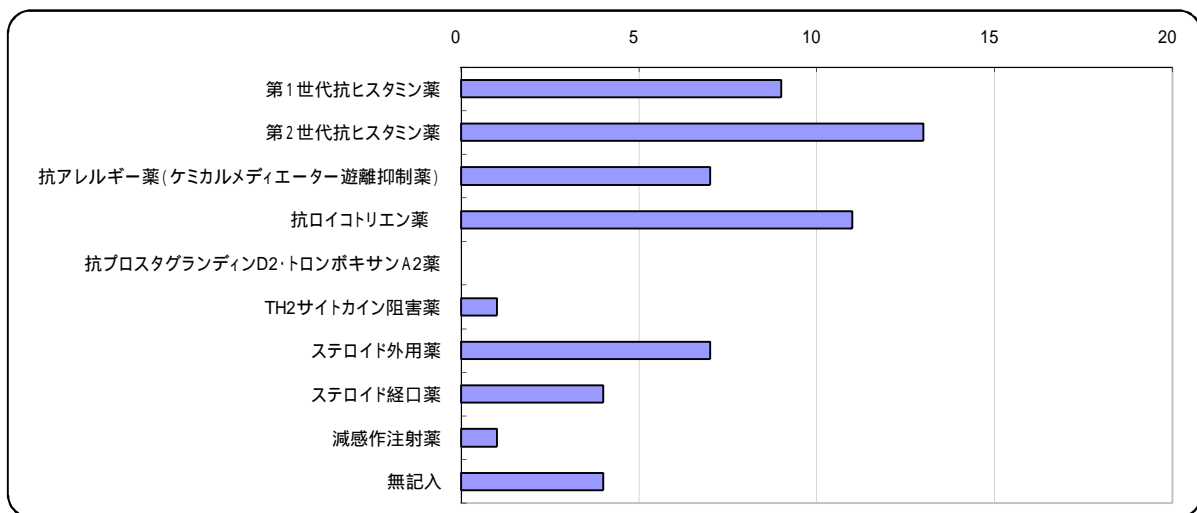
9. 喘息の患者さんに使用されている治療薬をお選び下さい(複数可)

吸入ステロイド薬	14
長時間作動性気管支拡張薬 吸入薬	7
長時間作動性気管支拡張薬 経口薬	5
長時間作動性気管支拡張薬 貼付薬	9
長時間作動性気管支拡張薬 無記入	3
テオフィリン薬	11
抗ロイコトリエン薬	13
抗アレルギー薬	6
発作用の短時間作動性気管支拡張剤	10
無記入	4



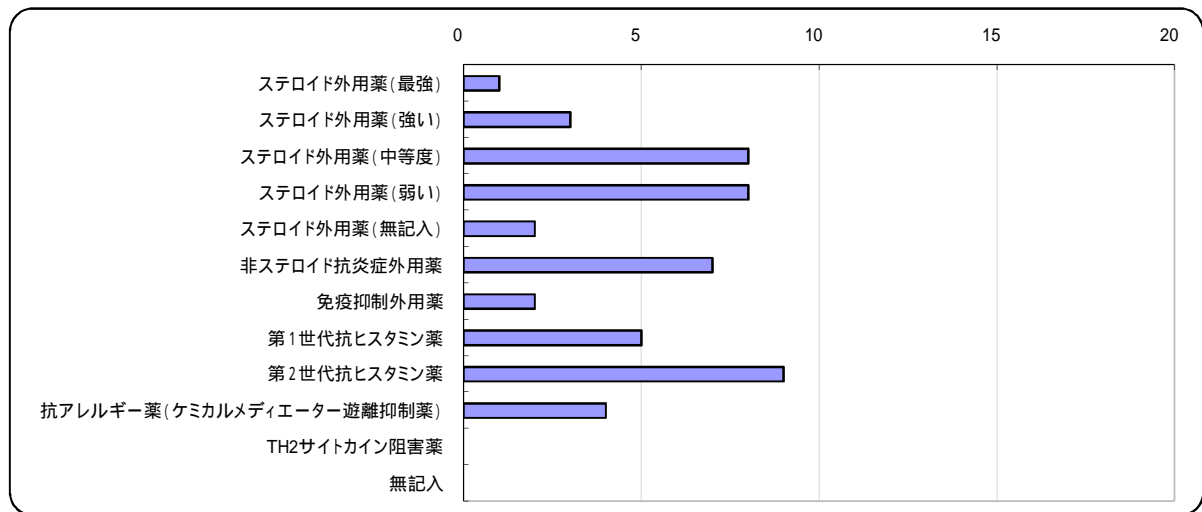
10. アレルギー性鼻炎(花粉症を含む)の患者さんに使用されている治療薬をお選び下さい(複数可)

第1世代抗ヒスタミン薬	9
第2世代抗ヒスタミン薬	13
抗アレルギー薬(ケミカルメディエーター遊離抑制薬)	7
抗ロイコトリエン薬	11
抗プロスタグランジンD ₂ ・トロンボキサンA ₂ 薬	0
TH2サイトカイン阻害薬	1
ステロイド外用薬	7
ステロイド経口薬	4
減感作注射薬	1
無記入	4



11. アトピー性皮膚炎の患者さんに使用されている治療薬をお選び下さい(複数可)

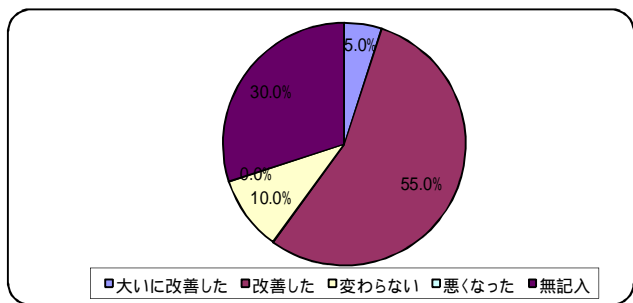
ステロイド外用薬 最強	1
ステロイド外用薬 強い	3
ステロイド外用薬 中等度	8
ステロイド外用薬 弱い	8
ステロイド外用薬 無記入	2
非ステロイド抗炎症外用薬	7
免疫抑制外用薬	2
第1世代抗ヒスタミン薬	5
第2世代抗ヒスタミン薬	9
抗アレルギー薬(ケミカルメディエーター遊離抑制薬)	4
TH2サイトカイン阻害薬	0
無記入	0



12. ガイドラインに沿った治療により患者さんの症状、QOLは改善しましたか

大いに改善した	1
改善した	11
変わらない	2
悪くなった	0
無記入	6
合計	20

重複あり



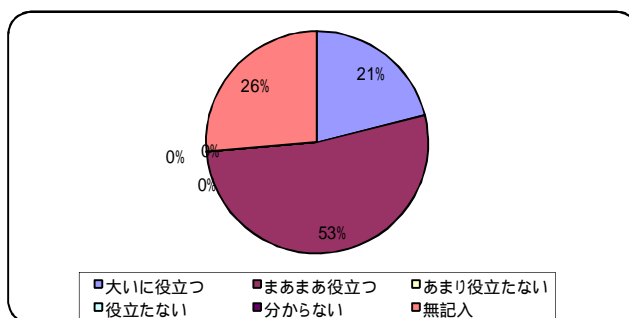
13. ガイドラインの改良すべき点を記述して下さい

- ・不適切治療に洗脳されている患者さんを、脱洗脳する手立ても紹介されれば...
- ・民間療法の良い点も取り入れられないものか
- ・生活指導(実行し易い、常に積極的治療への)疲労、睡眠、食事のとり方、身体を動かす、心のもち方など(生きている喜び)日常生活のチェック

C.「アレルギー研修会」について

1. このアレルギー研修会は、先生のご診療のお役に立つとお考えでしょうか

大いに役立つ	4
まあまあ役立つ	10
あまり役立たない	0
役立たない	0
分からない	0
無記入	5
合計	19



2. アレルギー研修会について、ご希望や改良すべき点がありましたら、お教え下さい(記述式)

- ・スライドレジメがあると、なお一層良いと思います
- ・メモ用紙をもっと多く
- ・回数多く開催されたい
- ・大量情報が入手でき大変良かった。またup to dateな事象も講演され今後の診療に大いに活かしたいと思います
- ・他科の専門医参加の生活療法の話、討論

以上